宇都宮市立桜小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○友達と協力するのは楽しいと考えている児童が殆どである。

○「自分には、良いところがあると思いますか。」の質問には、95%以上の児童が肯定回答を出している。県や全国の平均を上回っている。今後も自己肯定感を高めていけるよう個々の良さを認め伸ばしていきたい。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、9割近くの児童が肯定回答だった。残り1割近くの児童にとっても学校生活が楽しかった、充実していたと感じられるよう学習面・生活面での指導支援も充実させていきたい。

●9割以上の児童が算数の勉強は大切だと思っているが、「算数の勉強が好きですか。」の質問に対しては、4割近くの児童が苦手意識をもっている。少人数クラスでの学習の充実を図ってきたい。

●「将来の夢や目的を持っていますか。」の肯定回答は、県や全国の平均が8割近いのに対して多少下回っている。計画的に取り組むことで将来への見通しがもてるようキャリア教育を通して学び、自信に繋げていきたい。

宇都宮市立桜小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
タブレット等のICT機器を学習に活用し学習内容理解の習熟に役立てる	・AIDリル学習により、各教科の学習内容の定着を図る。 ・授業中における調べ学習やスライドの活用によりプレゼン能力の向上を図る。 ・動画・写真等により可視化、学級内での共有により学習内容を深める。	・児童全体が学習の中でICT機器を使うのは勉強に役立つと考えている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・国語の「話す・聞く」分野の正答率が低い。	・国語や総合的な学習の時間など教科横断的に発表する機会を設け、自分の意見を分かりやすく説明する力の育成を図る。	・タブレットを活用し、各教科のまとめの活動などでスライドを作成した上で発表させることで、プレゼン能力の向上を図る。 ・話の内容が明確になるように、構成を考えるとともに、メモを作る学習活動を取り入れる。